

樽末創定ガイドブック



北海道小樽未来創造高等学校 定時制課程

I 小樽未来創造高校の概要

学校名

北海道小樽未来創造高等学校（定時制課程）

所在地

〒047-8540
北海道小樽市最上1丁目29番1号
TEL：0134-23-6105
FAX：0134-23-6388



ホームページ

<http://www.miraisouzou.hokkaido-c.ed.jp/teiji/>

Instagram

http://Instagram.com/mirai_tei_official



@MIRAI_TEI_OFFICIAL

学級数・生徒数

学 科	コース	制 度	1 年	2 年	3 年	4 年	計
電気・建築科	電気コース	4 卒	1	1	0	1	3
		3 卒	2	0	2	0	4
	建築コース	4 卒	5	2	1	2	10
		3 卒	0	1	0	0	1
計			8	4	3	3	18

（令和7年4月18日現在）

校訓

自立・敬愛・創造

校章

本校は、「小樽商業高等学校」と「小樽工業高等学校」の伝統を受け継いでおり、3つの輪はそれぞれ「知識」「技術」「実践力」の意味が込められている。

また、中央に浮かぶハートマークは、本校で育てる「夢や希望の実現に挑戦する心」を表したものである。



Ⅱ 小樽未来創造高校の教育

スクール・ミッション

- 1 社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付け、持続可能な社会の実現に努める生徒の育成
- 2 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成

スクール・ポリシー

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
本校では卒業までに以下の資質・能力が身に付けられるように教育活動を展開しています。
 - (1) 専門性を生かし、職業人として社会に貢献する力の育成
 - (2) 心身ともに健康で、協働・敬愛の精神を持ち、誠実に取り組む力の育成
 - (3) 夢と希望に満ちあふれ、新しい価値を創造し未来を切り拓く力の育成
- 2 教育課程編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
本校ではグラデュエーション・ポリシーに揚げる資質・能力を身に付けるために次のような教育課程を編成しています。
 - (1) 地域や学校の実態を把握し、定時制課程として特色ある教育課程を編成
 - (2) 基礎・基本の内容を明確にし、社会人として必要な事項を確実に身に付けさせる教育課程を編成
 - (3) 実験・実習等の実践的な体験学習の充実を図り、問題解決能力や創造性の育成を重視する教育課程を編成
 - (4) 教科・科目と特別活動について相互の連携を図り、全体として調和のとれた指導を進める
- 3 入学者の受け入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー）
 - (1) 基本的な生活習慣を確立するために、高校生活を前向きに継続して学校生活を送ろうとする意志を持った生徒
 - (2) 学業と仕事等を両立させ、将来の夢や希望に向かって専門性を向上させていく意志を持った生徒
 - (3) 他人に思いやりを持ち、学校行事などに積極的に参加し、自分を高めようとする意志を持った生徒

学校教育目標

- 1 自立心、倫理観、規範意識、社会性の涵養
- 2 健康・安全、協働・敬愛の精神の醸成
- 3 専門的な知識や技術、実践力、創造力の育成

学校教育活動は、学校教育目標の具現化であり、生徒一人一人が自己の目標を実現させる教育を推進する。

生徒を中心に据えた教育を通し、生徒・保護者、地域から信頼される学校を目指し、生徒が本校で学ぶことに喜びを感じ、本校で学んで良かったと実感できる人間教育を推進する。

Ⅲ 小樽未来創造高校の特徴

本校の特徴

本校は「働きながら勉強したい」、「ゆっくりとしたペースで学習したい」という人々のための、後志地区で唯一の夜間定時制工業科の高校です。

本校では、生徒の皆さんが生涯にわたって自立して生き抜くため、変化が激しく予測困難な時代の中でも通用する確かな学力を身に付けることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育を目指しています。

また、本校は専門高校のため、電気や建築に関する知識や技術の基礎を勉強しますので、これから色々な資格を取得したいと考える皆さんに、絶好の機会を提供することができます。

全日制との違い

本校全日制課程では昼間に3年間で教科・科目87単位を勉強して卒業しますが、定時制課程では夜間に4年間で74単位を勉強して全日制と同等の資格が得られます。

また、本校では女子生徒も多く在籍しており、性別や年齢問わず誰もが安心して通えます。向学心を持ち、努力を継続していけば就職でも評価され、大学進学も可能です。

魅力ある授業

普通高校との大きな違いは「製図」「実習」など実技を伴う専門教育を中心としているところです。自分の学ぶ専門のコースに分かれて、いろいろなテーマで勉強し、“ものづくり”の基礎の修得を目標にしています。

また、最新機器・設備があり、自分の学ぶ専門のコースでいろいろなテーマで実習をします。一例をあげると電気コースでは計測実習、建築コースでは住宅設計などがあります。

ICTの活用

本校では、Society5.0時代を生き抜く生徒のために、ICT機器を活用した授業を実践し、情報活用能力の育成に向けて充実を図っています。鉛筆やノートなどの文房具と同様に、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのICT機器を身近なツールとして活用して学んでいます。これにより、全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現しています。

スクールカラー「紺碧」

紺碧（こんぺき）とは、真夏の日差しの強い青空のように深く濃い青色のことで濃い青色の「紺色」と強い青緑の「碧色」の色調から「紺碧の空」、「紺碧の海」のように濃く美しい碧の表現に使われる。

本校から見える小樽の空と小樽の海は正に「紺碧の空」、「紺碧の海」であり、空と海そして地平線は、生徒が活躍する「この先の未来」を思わせることから、スクールカラーを紺碧と決めた。

1 学科の特徴

本校定時制は、電気・建築科の1学級で、電気コースと建築コースの2コースに分かれており、地域社会に貢献する良き働き手と、職業人の育成を目指しています。また、本校では高校既卒者を対象とした、専門科目の教科のみを学習し、3年間で卒業する「3卒生」の制度があります。

2 電気コース

私たちが文化生活を営む上で電気は大変便利で、電気のない生活は考えられません。電気のエネルギーは、エネルギーの中で他のエネルギーに一番変換しやすいので、私たちの家庭はもとより、産業界においてもとても大切なエネルギー源となっています。

しかし、電気は見ることも、聞くことも、また匂いのかぐこともできません。作業には、細心の注意と状況の変化に素早く対応する能力が必要になります。このことは、社会に出てから電気の仕事に携わっているときも、また、事務など他の作業を担当することになった際にも立派に通用する能力となります。そして、そういう能力を備えた人材を社会は求めています。

先を急ぐばかりが大切なことではありません。電気を扱うには、基礎の知識、技能が大切なのです。電気コースでは電気に関する勉強を、電気回路や電気実習を中心として、電気エネルギーの発生から運用まで行います。また、電子技術や情報関係の学習として、トランジスタやマイコンの理論と実習、そしてパソコンを利用した製図やワープロ、表計算などを幅広く勉強します。



3 建築コース

人間生活にとって欠かすことの出来ない基本的な条件として、衣、食、住の3つがあげられます。原始的な時代においても、衣服と食物と住居は人間生活にとって欠かすことのできないものでした。人間生活が高度化した現代においても、この3つが欠かすことの出来ないものであることに変わりはありません。文化の発展にともない、人間生活が複雑になるにしたがって、住居は次第に分化し、今日我々が見るように色々な用途の建築物を産み出してきました。

建築は人間生活の器（うつわ）であるといわれています。建築物はいつも文化の発展に対応しながら個人的、社会的な人間生活を包み、これに便利で快適で安全な場を与えるものとされてきました。

建築コースでは、この「人間生活の器（うつわ）」をつくるための基礎的、基本的な知識と技術を学ぶため、次のような科目を勉強します。



教育課程

1 令和7年度(2025年度)入学生教育課程表

学科	電気・建築科									
	電気コース					建築コース				
教科	学年 科目	1	2	3	4	学年 科目	1	2	3	4
国語	現代の国語	2	2			現代の国語	2	2		
	言語文化			2		言語文化			2	
地歴	地理総合			3		地理総合			3	
	歴史総合				3	歴史総合				3
公民	公共	2				公共	2			
数学	数学Ⅰ	2	2			数学Ⅰ	2	2		
理科	科学と人間生活	2				科学と人間生活	2			
	物理基礎				2	物理基礎				2
保健 体育	体育	2	2	2	2	体育	2	2	2	2
	保健	1	1			保健	1	1		
芸術	書道Ⅰ	1	1			書道Ⅰ	1	1		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	2			英語コミュニケーションⅠ	2	2		
家庭	家庭基礎		2			家庭基礎		2		
普通科目合計		14	12	7	7	普通科目合計	14	12	7	7
工 業	工業技術基礎	3				工業技術基礎	3			
	課題研究				3	課題研究				3
	実習		3	3		実習			3	3
	製図		2			製図		3	3	
	工業情報数理	2				工業情報数理		2		
	電気回路		2	3	3	建築構造	2	2		
	電気機器				3	建築計画			3	
	電力技術			3	2	建築構造設計				3
	電子技術			2		建築施工			2	
工業科目合計		5	7	11	11	工業科目合計	5	7	11	11
教科科目合計		19	19	18	18	教科科目合計	19	19	18	18
特別活動	H R 活動	1	1	1	1	H R 活動	1	1	1	1
合 計		20	20	19	19	合 計	20	20	19	19

2 令和7年度(2025年度)3卒生教育課程表

学科	電気・建築科							
	電気コース				建築コース			
教科	学年 科目	1	2	3	学年 科目	1	2	3
工 業	工業技術基礎	3			工業技術基礎	3		
	課題研究			3	課題研究			3
	実習	3	3		実習		3	3
	製図	2			製図	3	3	
	工業情報数理	2			工業情報数理	2		
	電気回路	2	3	3	建築構造	2	2	
	電気機器			3	建築計画		3	
	電力技術		3	2	建築構造設計			3
	電子技術		2		建築施工		2	
工業科目合計		12	11	11	工業科目合計	10	13	11

Ⅳ 小樽未来創造高校の学校生活

生活の特徴

本校の生徒は、昼間働き夜間は学校で勉強する生活を送っています。学校生活と就労経験の両方を通じて、生徒たちが大きく成長していくのが本校の特徴です。

働きながら学ぶ経験を通じて以下を身に付けることができます。

- ① 適切な人間関係を構築していきます。学校だけでなく、就労先でも人間関係を学んでいきます。
- ② 働くことの大切さを理解していきます。実体験を積むことで理解が深まっていきます。
- ③ 適切な行動がとれるようになっていきます。学校と就労先の両方で経験を積むことで成長していきます。
- ④ 充実感を得ながら毎日の生活をおくることができます。学校でも就労先でも自分の居場所や役割があります。

基本時鐘

定時制は、1日4時間授業です。1時間は45分授業で、授業の他に特別活動（LHR・学校行事・生徒会行事）、部活動があります。基本時鐘（チャイム）は下表のとおりです。

給食①	16:50～17:25
SHR	17:25～17:30
1校時	17:30～18:15
給食②	18:15～18:30
2校時	18:30～19:15
3校時	19:20～20:05
4校時	20:10～20:55
SHR	20:55～21:00

給食

定時制には働きながら学ぶ生徒のために「夜間給食制度」があり、1食200円の個人負担で食べることができます。希望制で前月に料金を徴収します。

給食時間は16:50～17:25と18:15～18:30の2回あり、授業のある日は毎日給食があります。本校では給食調理員さんが毎日皆さんのために愛情を込めて栄養バランスのとれた給食を提供してくれています。生徒の皆さんからは、ボリュームがあってとてもおいしいと好評です。

メニューはバラエティー豊かで、月曜日は丼物、水曜日は麺類、金曜日はカレーライスとなっています。

まぜご飯



ラーメン



カレーライス



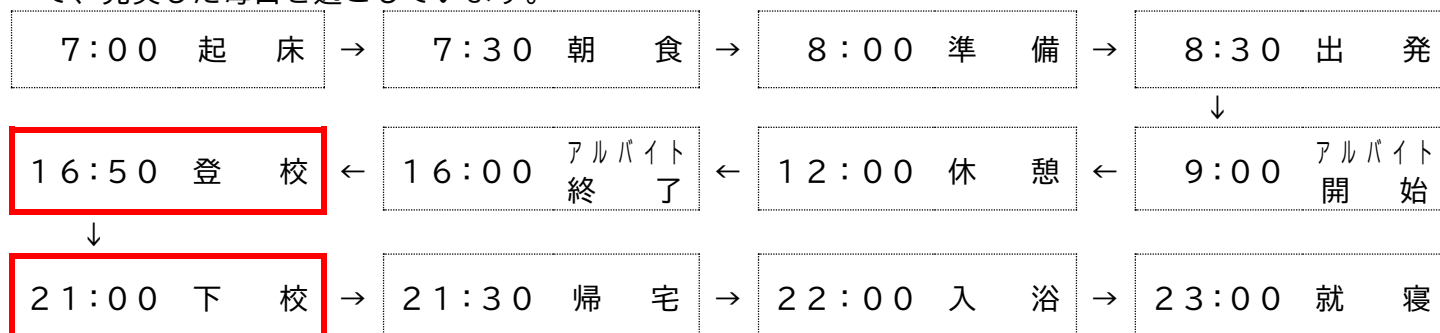
通学方法

学校までの通学方法は、徒歩・自転車・バスの他に、送迎（保護者・雇用主）・バイク・自家用車による方法があります。

バイクや自家用車による通学については許可制になっています。許可には任意保険への加入が必要です。

1日の様子

定時制に通う生徒の「1日の様子」を例にあげました。皆さん学校生活に支障のないアルバイトに就いて、充実した毎日を送っています。



行事

【4月】 入学式、着任式・始業式、新入生オリエンテーション

入学式



着任式・始業式



新入生オリエンテーション



【5月】 PTA総会、交通安全・防犯講話、定通体連（地区）壮行会、定通体連（地区）

【6月】 定通体連（全道）壮行会、定通体連（全道）、生徒総会、たそがれ遠足、見学旅行

たそがれ遠足



たそがれ遠足



授業風景



【7月】 映画鑑賞、学校祭、薬物乱用防止教室、終業式

映画鑑賞



学校祭



学校祭



【8月】 始業式、防火避難訓練／【9月】 生活体験発表大会

防火避難訓練



授業風景



生活体験発表大会



【10月】 学校見学、秋季体育大会

学校見学



秋季体育大会



授業風景



【11月】 生徒会役員選挙／【12月】 防災避難指導、終業式

生徒会役員選挙



終業式



授業風景



【1月】 始業式

【2月】 冬季体育大会

冬季体育大会



冬季体育大会



授業風景



【3月】 卒業式、修了式・離任式

卒業式



卒業式



授業風景



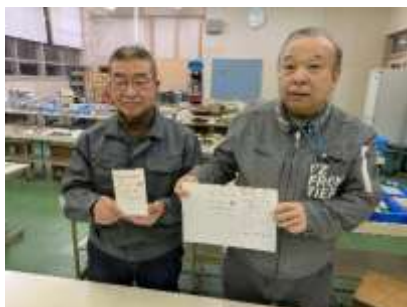
部活動・同好会

放課後の時間を活用し、以下のような部活動・同好会の取組を行っています。年に1回、定時制通信制体育連盟主催大会が行われ、後志地区を勝ち上がると全道大会に出場することができます。

過去には、軟式野球部とバドミントン部が全国大会に出場したことがあります。

- 1 部活動
バスケットボール部、軟式野球部、バドミントン部、写真部
- 2 同好会
音楽同好会、囲碁・将棋・オセロ同好会

資格取得・その他



第二種電気工事士合格



日本工学院専門学校主催 いすデザインコンクール
審査員特別賞受賞

V 小樽未来創造高校の費用

入学費用

下表の金額を入学式当日に納金します。(令和7年度入学生)

項 目	内 訳		金 額
入学一時金	P T A入会金		8 0 0円
	生徒会入会金		1, 0 0 0円
	運動靴		5, 8 0 0円
	関数電卓		3, 6 3 0円
	小 計		1 1, 2 3 0円
学年始め 諸納金	スポーツ振興センター掛金		8 8 0円
	書道教材費		2, 0 0 0円
	体育・理科教材費		2, 3 4 0円
	工業検定費	電気コース	1, 4 0 0円
		建築コース	7 0 0円
	郵送料等経費（学級費）		1, 5 0 0円
	卒業積立金		1, 3 5 0円
	小樽市高等学校定時制通信制教育振興会費		1, 2 0 0円
	小 計	電気コース	1 0, 6 7 0円
建築コース		9, 9 7 0円	
合 計	電気コース	2 1, 9 0 0円	
	建築コース	2 1, 2 0 0円	

※ 上表の他に入学料納付用紙に2,100円分の北海道収入証紙を貼付して提出していただきます。

諸納金

令和7年度入学生(1年生)が1年間に納める授業料等諸納金一覧です。

項 目	金 額
授業料	32,400円
PTA会費	3,120円
生徒会費	7,200円
文化体育費	3,600円
卒業積立	1,350円
見学旅行	48,000円
合 計	94,320円

※ 高等学校等就学支援金(P11参照)の受給資格の認定を受けた方は、支援金により授業料が相殺されることから、授業料を納付する必要はありません。

※ PTA会費は一世帯年額3,120円です。弟妹が在籍していると上位学年が免除となり、下位学年から徴収されます。

※ 給食については、希望者のみの提供としており、毎月指定された日にお支払いいただきます。

教科書購入費還付

使用する教科書は原則として入学時に所定の書店で各自購入して貰います。働いている生徒など教科書補助の対象となる場合は、支払った教科書代が還付されます。(P11参照)

各種教育支援・奨学制度

北海道教育委員会では、公立高等学校に学ぶ生徒の保護者等の経済的な負担を軽減するため、次のような制度を設けておりますので積極的に活用してください。詳しくは、北海道教育委員会ホームページを御覧ください。

- 1 高等学校等就学支援金
高校等に通う所得等要件を満たす世帯の生徒に対して、授業料に充てるための支援金を支給します。
- 2 奨学のための給付金
高校等に通う低所得者世帯に対し、授業料以外の教育費を支援します。
- 3 高等学校等修学支援事業費（学び直し支援）
中途退学した者が再び高校等で学び直す場合、就学支援金の支援期間を超えた者に対して支援します。
- 4 高等学校等生徒奨学金（公益財団法人 北海道高等学校奨学会）
経済的理由により就学が困難な生徒に対し、奨学金を貸与します。
- 5 定時制課程・通信制課程生徒学資金
経済的理由により就学が困難で、経常的収入を得る職業に就いている生徒に学資金を貸与します。高等学校卒業した場合、返還債務が免除されます。
- 6 教科書・学習書給与
パート・アルバイト、求職中の者を含む有職生徒の教科書・学習書購入代金を給与します。
- 7 生活福祉資金貸付制度（教育支援資金）
高校、大学、短大、専門学校への就学に際し、入学金・制服等の入学に際し必要な経費と、授業料や通学定期代等の就学経費のための貸付を行います。※所得制限があります。

校 歌 （作詞・作曲 福 由樹子／村上由希子）

1 潮風を背に受け 歩む千秋
坂の上 強く たたずむ学び舎
希望を抱いて 友と分かち合う
心開いて 想い奏でよう
未来創造 明日の夢 信じて
この想い 繋がる 望が丘で

2 煌めく街 小樽の 変わらぬ景色
緋は紺碧へと 移ろい重なる
悠久の歩み 受け継いでゆこう
磨き磨かれ 大きく羽ばたく
未来創造 明日の夢 描いて
海を越え 飛び立つ 輝く道へ



VI 小樽未来創造高校の教育活動

個別対応

本校では、教科指導・生徒（生活）指導・健康指導の経験豊かな教職員が所属していますので、様々な場面において柔軟、かつ弾力的な対応が可能です。特に、小学・中学校時に不登校を経験し、基礎学力に不安を抱いている場合でも、その生徒の特性やニーズに合わせた授業展開が可能です。

一人ひとりに合わせたケアや指導を重視しています。

TT

本校では、専門科目において作業をともなう授業（実習系）では、学習指導の充実を図るためにチーム・ティーチング（TT）で授業を行っています。

これにより、学習活動について多様な形態を生み出すことができ、個々の学習者の学習速度やスタイル、習熟度別展開等の対応を可能にしています。また、複数の教職員の目で個々の生徒を多面的に捉え深めることができます。

特別支援教育

本校では、学校において生徒同士の良好な人間関係が構築されるとともに、生徒と教職員の信頼関係が構築され、全ての生徒にとって安心感と充実感が得られる魅力ある学校づくりを推進しています。

- 1 教育相談週間を年2回設け、全ての生徒を対象に相談員（本校教職員）と面談を行い、悩みや相談等を聞く場面を設定しています。
- 2 全ての生徒に対しスクール・カウンセラー（SC）との面談を実施し、必要に応じてスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）やパートナー・ティーチャー（PT）と連携し、教育相談体制の充実を図るとともに、特別な支援が必要な生徒や不登校の生徒を組織的・計画的に支援しています。

SST

「ピアサポート」を取り入れたソーシャル・スキル・トレーニング（SST）を実践しています。学ぶ経験を通じて以下を身に付けることができます。

- ① 共感と理解の向上
人の感情や経験に共感し、理解する能力を向上させます。これによって、他人の立場をより深く理解し、効果的な支援を提供できるようになります。
- ② 実用的なスキルの習得
同じ状況を共有する人々に対して適切な支援やアドバイスを提供するためのスキルを習得します。実践的な問題解決やコミュニケーションスキルを向上させることができます。
- ③ 信頼関係の構築
学ぶ過程で、他人と信頼関係を築く方法やコミュニケーションの重要性を理解し、実践することができます。
- ④ 自己成長と自己肯定感の向上
他人を支援することで、自己成長を促進し、自己肯定感を向上させることができます。他人に対する貢献感や喜びを体験することで、自己価値観が向上します。
- ⑤ コミュニティの強化
コミュニティ内での協力や助け合いの文化を醸成する手助けをすることができます。これによって、コミュニティ全体の健全な成長と連帯感が促進されます。

キャリア教育

本校でのキャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できるように資質・能力を身に付けることができます。

【主な就職先】

北海道エネルギー株式会社 札幌緑花会大倉山学院 株式会社楠木興樹園 小樽駅前ビル株式会社	株式会社 aim 株式会社北山光社 小樽市立病院	大和水産株式会社 ミユキソーイング株式会社小樽工場 株式会社山田産業
---	--------------------------------	--

【主な進学先】

北海道科学大学	星槎道都大学	職業能力開発大学校
---------	--------	-----------

道徳教育

「人権教室」を実施し、個人や集団の人権に関する理解を深め、尊重する心を育んでいます。学ぶ経験を通じて以下を身に付けることができます。

① 人権意識の醸成

人々に、どのような人権が存在するか、なぜそれらが重要なのかを理解させることにより、人権に関する意識を高めることができます。

② 差別・いじめの予防

人種、性別、宗教、性的指向などに基づく差別を予防し、偏見やステレオタイプを乗り越えることが望めます。

③ 対話と共感

異なるバックグラウンドを持つ人々が対話し、相互の経験や感情に共感することを通じて、共感力とコミュニケーションスキルを向上させることができます。

④ 平和と協力

人権教育は、平和的な共存と協力の重要性を強調し、暴力や紛争の解決方法を探る手助けをします。

⑤ 個人の成長

個人の自己肯定感や自己価値観を向上させ、健全な自己成長を促進します。

⑥ 社会への貢献に役立てることができます。

人権教育は、社会に積極的に貢献する市民としての意識を養い、良きリーダーシップと責任感を育てます。

生涯学習

本校では、既に高等学校（他校を含む）を卒業した社会人を対象とした「3卒制度」を導入しています。この制度は、専門科目34単位だけを学ぶことができます。なお、特別活動（LHR・学校行事・生徒会行事）は免除されます。

通常の4年間で卒業する生徒（4卒生）と3卒生が同じ空間（教室）で一緒に勉強するため、非常に落ち着いた雰囲気の中で学習することができます。



北海道小樽未来創造高等学校（定時制課程）

〒047-8540

北海道小樽市最上1丁目29番1号

TEL : 0134-23-6105

FAX : 0134-23-6388

<http://www.miraisouzou.hokkaido-c.ed.jp/teiji/>